

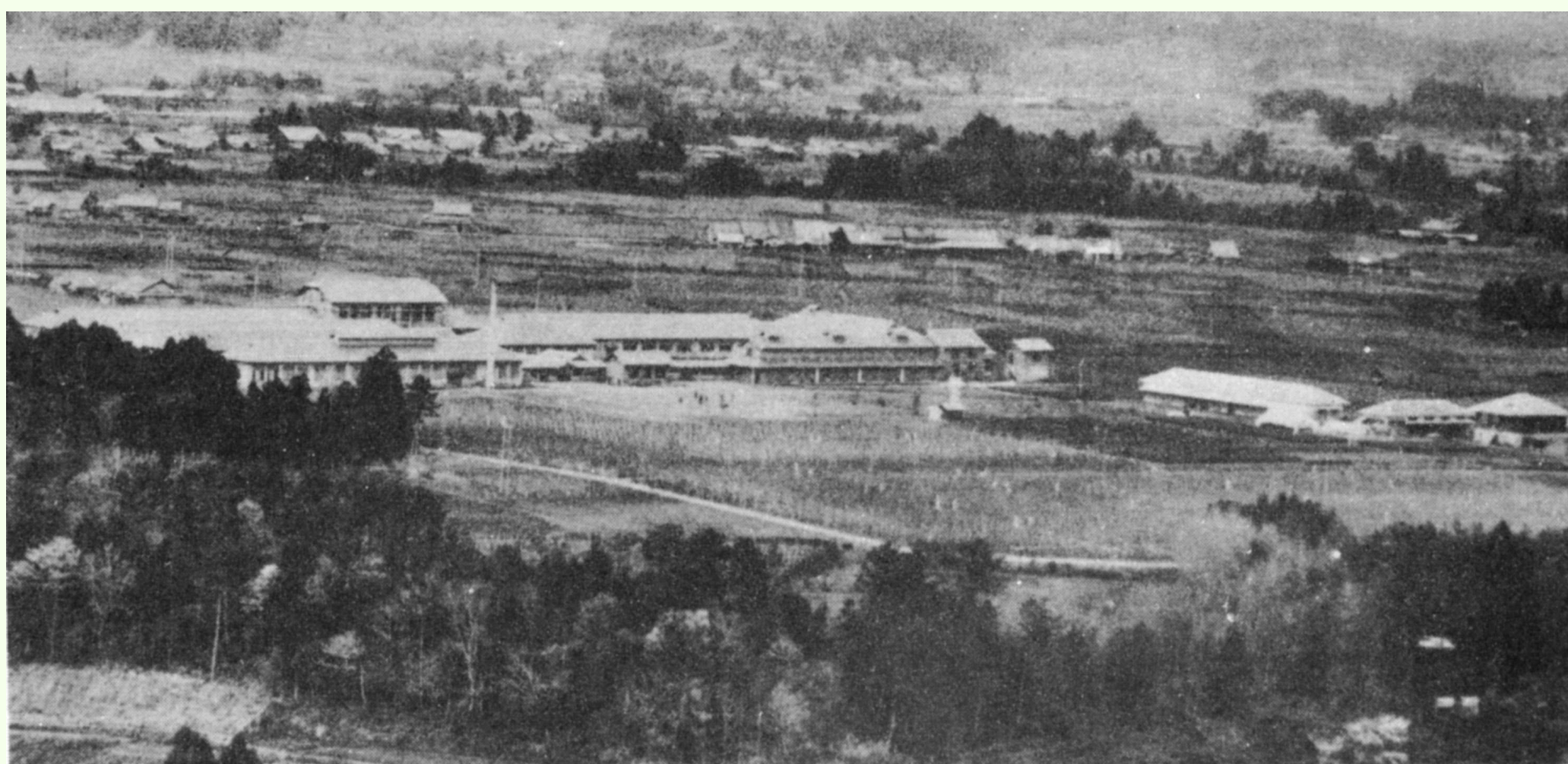
愛知の蚕業教育(2)

愛知県農蚕学校～愛知県立新城高等学校

愛知県蚕糸学校が設立された同年の1919(大正8)年4月には、南設楽郡新城町(現新城市)に愛知県農蚕学校が地域の期待を担って設立された。

その後、農業科のある農林学校や農業学校においても、養蚕学や製糸学の科目が各学科の中に設けられ、蚕業教育が農業教育の一環として行われるようになった。

■愛知県農蚕学校時代



愛知県新城農蚕学校時代の校舎全景



1924(大正13)年竣工の新城農蚕学校の本館

1918(大正7)年12月、甲種農業学校として、愛知県農蚕学校の設立が文部省より認可された。現在の新城高校がある桜淵中野に1万5千坪の校舎敷地を当時の新城町が買収し、県へ寄付した。翌1919(大正8)年4月15日、新城尋常高等小学校を仮校舎として開校した。初代校長は羽山守人、予科1年、本科3年の農蚕学校としてスタートした。

養蚕・製糸業の隆盛に伴って、地域の蚕業教育への要望に応じて愛知県農蚕学校は開校したが、当初の諸設備は不備であり、学校関係者の苦労も多かった。

■愛知県新城農蚕学校時代

1922(大正11)年2月、校舎、体育館、柔道場などが竣工し、5月に愛知県新城農蚕学校と改称している。1923年3月に第1回生が卒業した。1924年には、本館や正門、校舎新築工事が落成し、学校としての諸設備が整いつつあった。1931(昭和6)年、定員320名に変更し、各学年農業科40名、蚕糸科40名となった。



農蚕学校の養蚕室(大正10年竣工)



新城農蚕学校の製糸場(大正時代)

■愛知県立新城高等学校時代

1948(昭和23)年、学制改革により、愛知県立新城農蚕高等学校となったが、同年10月、高等学校設置条例により、新城高等学校、鳳来寺高等学校を統合して、愛知県立新城高等学校となった。農業課程1年4学級、別科1学級、普通課程1年3学級の新制高校としてスタートした。鳳来寺高校は分校となったが、翌年に分離独立している。

写真の出典：『創立六十周年記念誌』愛知県立新城高等学校